

橋 り よ う 定 期 点 検 調 書

橋りょう番号 371802133061-

マツキワタシバシ
橋りょう名 松木渡橋

路 線 名 松ノ木渡線

所 在 地 琴浦町大字八橋

橋りょう定期点検調書その 1 橋りょう諸元, 総合点検結果

橋りょう番号		ブリガナ	マツキワタシバン		架設年（西暦）		橋長 — 径間数 — 桁種		事務所名	琴浦町	点検者	西谷技術コンサルタント(株) 福岡、樹田	点検日	2022/3/2		
371802133061-		名称	松木渡橋		S44 1969		15.0m	1	4	鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋		路線名	松ノ木渡線	
交差区分 名称		3	八橋川		上部工型式		単純鋼H桁橋			調書区分数	1	積雪寒冷地	—	備 考（補修履歴等）		詳細調査履歴
橋りょう全幅員		3.60 m		下部工 形 式	A1橋台		RC逆T式橋台（推定）			床版支間	1.80 m	凍結防止剤散布	—			
自動車交通量		少ない	A2橋台		RC逆T式橋台（推定）			支承材	鋼製	海岸からの距離	2.1km					
うち大型車交通量			橋 脚		—			伸縮装置	不明	鋼橋塗装系	—					
緊急輸送道路		次		基礎形式		不明			高欄種別	鋼製	橋面防水処理	—	緯度		経度	
												35° 29′ 21.2″		133° 39′ 29.1″		
定期点検調書その1 総合点検結果	劣 化 ・ 損 傷 部 位			要 素 番 号		変状度	劣 化 ・ 損 傷 内 容					総合評価（補修の時期・工法、緊急対応など）			健全性評価	
	上部工	コンクリート床版	①左側端張出し			張出床版のかぶり不足による鉄筋露出は、水の供給による鉄筋腐食の進行が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。					Ⅱ					
			②左側歩道下													
			③車道下													
			④右側歩道下													
			⑤右側端張出し													
		主 桁 （鋼 製）	①左側端耳桁			主桁は全体的に防食機能が劣化し、端部では腐食による断面減少が生じていることから、耐荷性能が低下している可能性があるため、詳細調査が必要である。横桁の防食機能の劣化は、腐食に進展し、耐荷性能に影響する前の予防的な対策が望ましい。					Ⅲ					
			②左側歩道下													
			③車道下													
			④右側歩道下													
		横桁・縦桁等		⑥												
	下部工	橋 台	A1 [有筋]			A1橋台の鉄筋露出は圧縮側の鉄筋であり、局部的であるため、経過観察とする。					Ⅰ					
			A2 [有筋]													
		基 礎	橋台・橋脚とも													
			橋 脚 （ な し ）	P1												
				P2												
				P3												
				P4												
				P5												
				P6												
	支承部	支承本体（アンカーボルト）				支承は腐食が著しく、支承機能（すべり機能）が低下している可能性があるため、詳細調査が必要である。					Ⅲ					
		落橋防止装置（鋼製部） 〃（Co部）、変位制限装置等														
	路上部	舗 装				舗装の3cm程度の段差は車両走行性の低下および歩行者の躓きが懸念されるため、対策が望ましい。遊間からの漏水は主桁端部や支承等の劣化要因となるため、漏水防止対策が望ましい。					Ⅱ					
		伸縮装置														
		排水桝・排水管														
		点検施設														
		地 覆														
		鋼製高欄・防護柵（ガードレール）														
		コンクリート高欄（壁式）														
												橋りょうの健全性評価		Ⅲ		

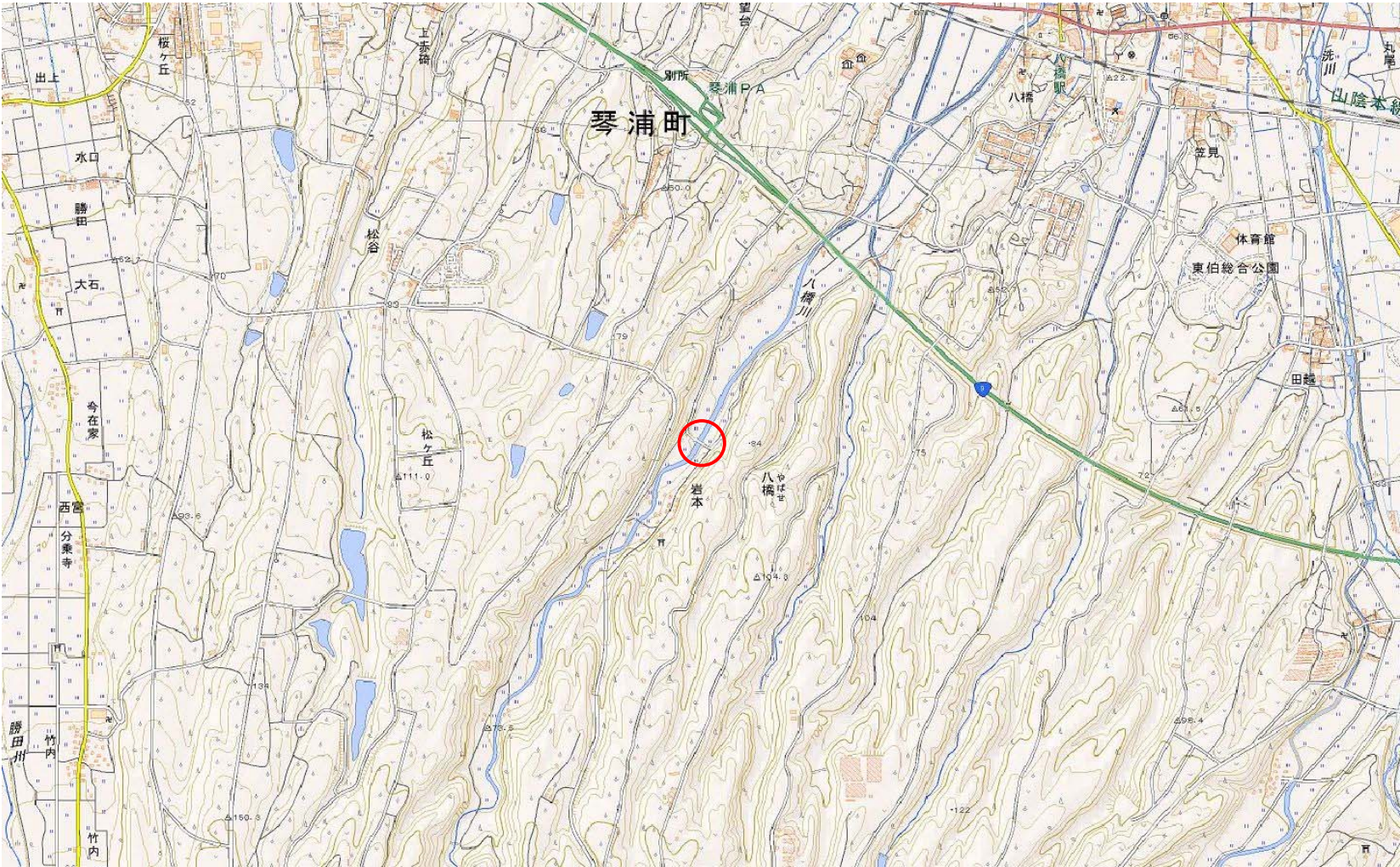
橋りょう番号・名称	マツキワタシバン	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町：西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田	■点検日	2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44(1969)	15.0m	11	鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋		松ノ木渡線

定期点検調査その2 橋りょう一般図 # 1/2

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図(広域)



Non Scale 1



橋りょう番号・名称	マツキワタシバン	架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田	■点検日	2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44(1969)	15.0m	1	鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋	松ノ木渡線	

橋りょう一般図 (位置図, 平面図, 側面図, 断面図等)

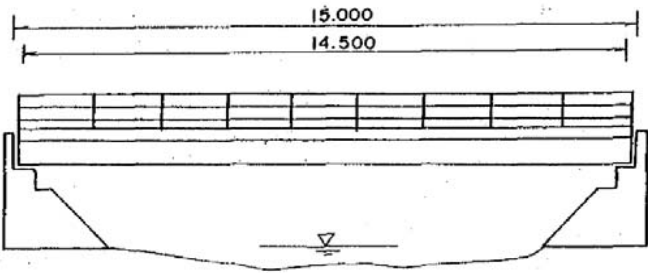
※径間が複数ある場合は径間番号をつけること
※既存の図面等がない場合は概略図でよい

位置図

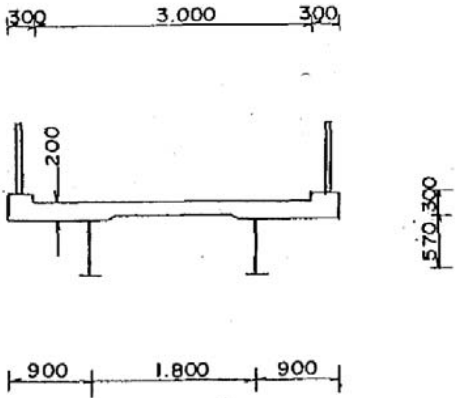
八 橋



側面図



断面図



Non Scale



定期点検調書その2
橋りょう一般図
2/2

橋りょう番号・名称	マツキワタシバシ	架設年(西暦)	橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福岡、梶田	■点検日	2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44 (1969)	15.0m 1 鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋	路線名	松ノ木渡線

定期点検調査その3

点検模式図

#

1/1

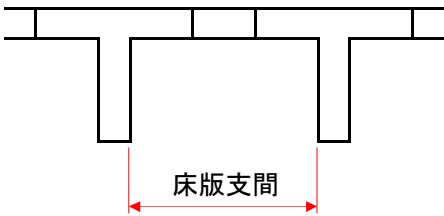
点検模式図（床版・主桁）

地名(・左右岸)：起点側から終点側方向へ

大字八橋・左岸

※ 必要に応じて (A2→A1) などを追記する。

T 桁の床版支間



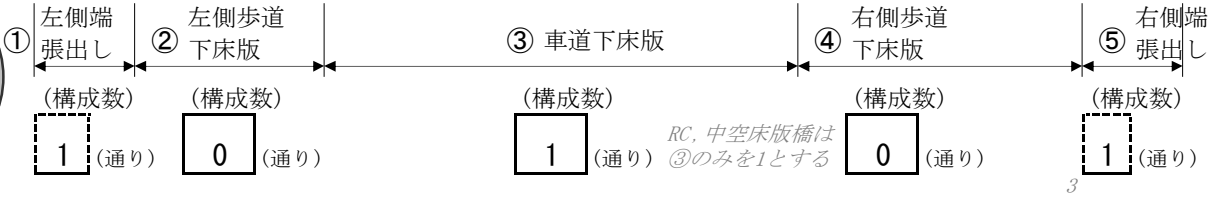
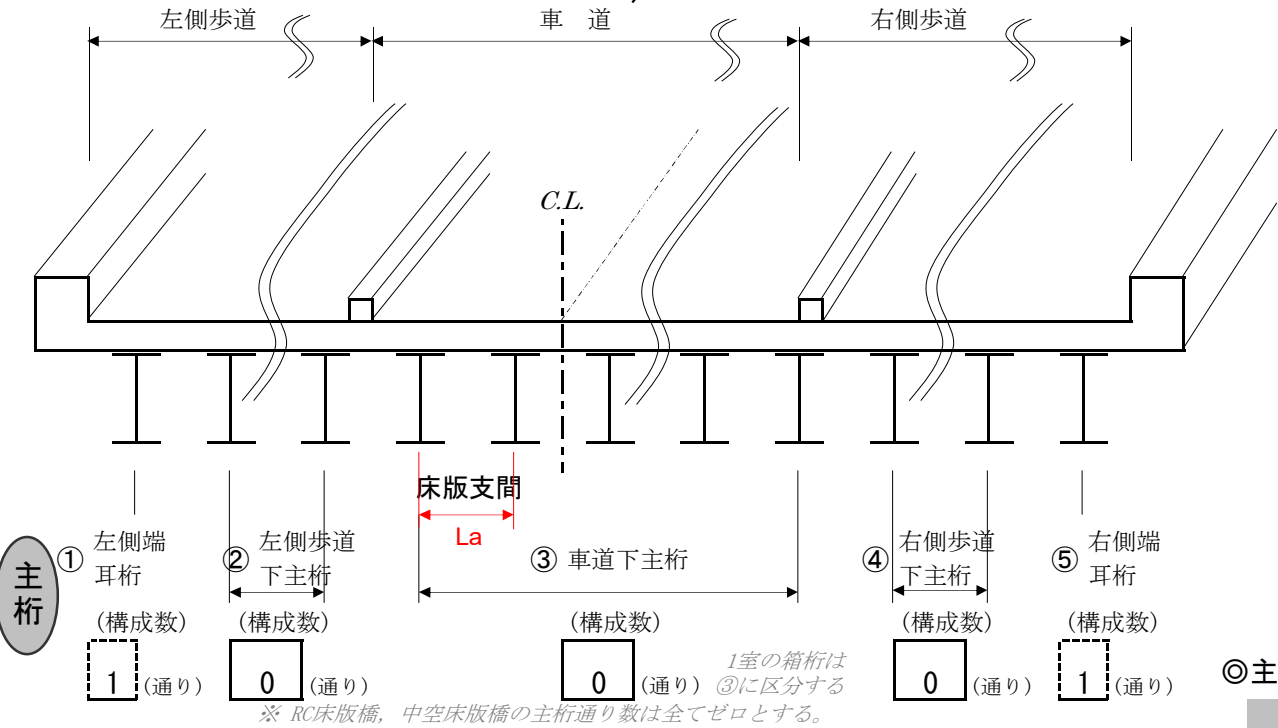
※ ホロー桁の床版支間は考慮しない。

⑥ 横桁, 縦桁
対傾・横構
トラス・アーチ部材
(構成数)
1 (部材)

※ 床版, 主桁を要素番号別にグループ分け(5, 6区分)する。
※ 左側, 右側歩道等の要素がない場合は構成数をゼロとする。
※ 床版, 主桁とも"通り"の要素細分を 終点側に向かって 左から主桁(床版)01, 02, 03...主桁(床版)nとする。
※ 多径間の場合は"径間"ごとの要素細分をし、起点側から 主桁(床版)01, 02, 03...主桁(床版)nとする。
※ 個別の要素を特定する場合、"通り・径間"の順番を続けて 並べた 4ケタの要素細分"〇〇〇〇"で表現する。下図参照

◎主桁の要素細分		橋台	径間01	橋脚	径間02	橋脚	径間n
起点側	① 主桁01		0101		0102		01n
	主桁02		0201		0202		02n
	主桁03		0301		0302		
	主桁04		0401		0402		
	⋮						
	⑤ 主桁n		n01		n02		
							終点側

※ 要素番号は丸囲み数字 ※ 一般的な桁橋の床版は n+1 までの数字になる。



※ 歩道橋の"中央部床版通り"は②左側歩道下を含める。

橋りょう番号・名称		マツキワタシバン		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田		■点検日 2022/3/2		
371802133061-		松木渡橋		S44 (1969) 15.0m 1 鋼製桁		所在地		琴浦町大字八橋		松ノ木渡線		
定期点検調書その4 現地状況写真 # 1/3	起点側→ 終点側					1	終点側→ 起点側					2
												
	上 流→ 下 流					3	下 流→ 上 流					4
												

橋りょう番号・名称	マツキワタシバン	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、梶田	■点検日 2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44(1969) 15.0m 1 鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋	松ノ木渡線

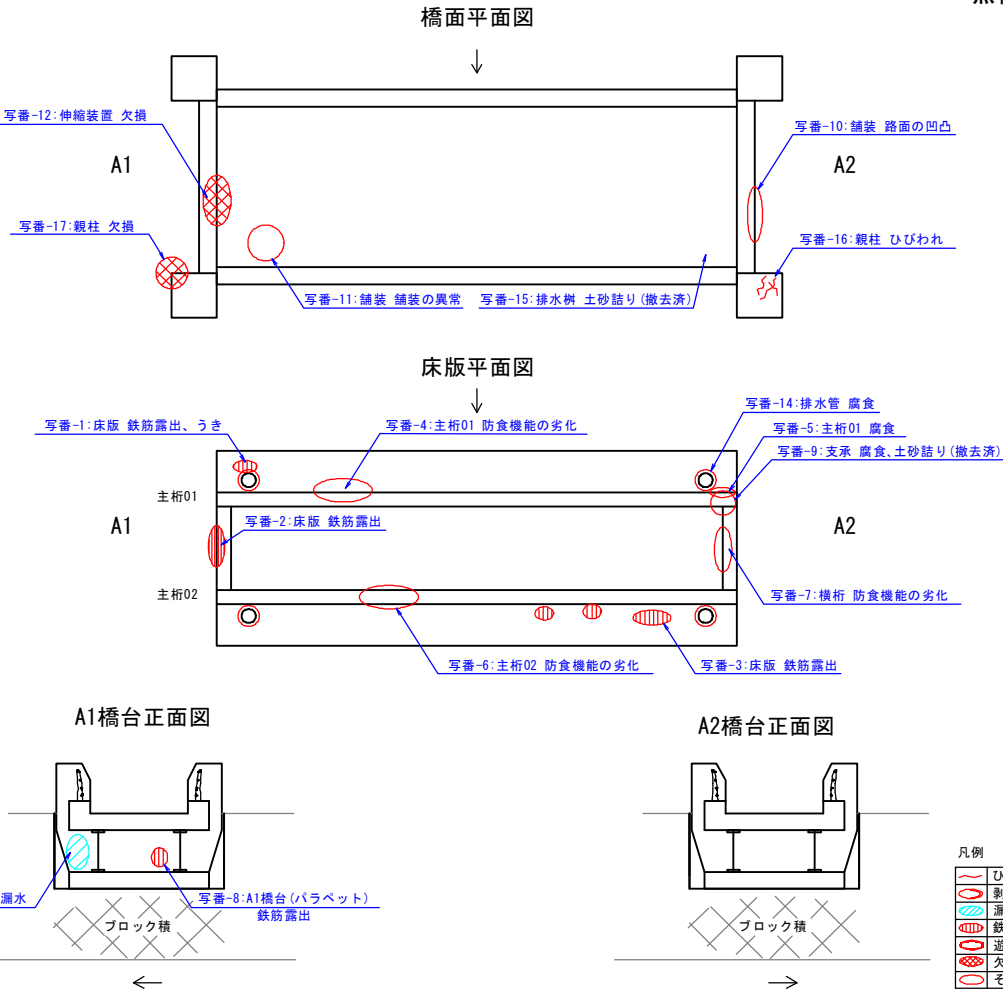
定期点検調書その4 現地状況写真 #2/3	下部工(起点側)	5	下部工(終点側)	6
				
	床版(下側から)	7	支承等	8
				

橋りょう番号・名称		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種		事務所名		琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福岡、梶田		■点検日 2022/3/2							
371802133061-		松木渡橋		S44(1969) 15.0m 1 鋼製桁		所在地		琴浦町大字八橋		松ノ木渡線					
定期点検調書その4 現地状況写真 # 3/3	遊間					高欄									
						 上流側					 下流側				
	橋名板					橋歴板									
															

点検実施箇所について☑をすること

チェック欄

床版下面	☒ 床版	点検者	福間 守
	☒ 主桁		
	☒ 横桁		
橋 面	☐ 床版	(仮)健全度判定	I II III IV
	☒ 附属物		
	☒ 排水施設		
橋台(左岸側)	☒ 舗装	橋台(右岸側)	
	☒ 橋座		
	☒ 支承		
橋台(右岸側)	☒ 壁面		
	☒ 橋座		
	☒ 支承		
橋面	☒ 排水施設		
	☒ 舗装		



損傷の種類(凡例)

ひび割れ

遊離石灰

鉄筋露出

漏水

・凡例に従い損傷をスケッチする。
・代表的な損傷箇所の写真を撮影し、スケッチ図に「損傷の種類」と「写真番号」を記入する。

(上部工)張出床版のかぶり不足による鉄筋露出は、水の供給による鉄筋腐食の進行が懸念されるため、予防的な対策が望ましい。車道下床版のかぶり不足による鉄筋露出は、鉄筋腐食は軽度であるため、経過観察とする。主桁は全体的に防食機能が劣化し、端部では腐食による断面減少が生じていることから、耐荷性能が低下している可能性があるため、詳細調査が必要である。横桁の防食機能の劣化は、腐食に進展し、耐荷性能に影響する前の予防的な対策が望ましい。

(下部工)A1橋台の鉄筋露出は圧縮側の鉄筋であり、局部的であるため、経過観察とする。

(支承)支承は腐食が著しく、支承機能(すべり機能)が低下している可能性があるため、詳細調査が必要である。

(橋面)舗装の3cm程度の段差は車両走行性の低下および歩行者の躓きが懸念されるため、対策が望ましい。舗装の欠損は局部的であり、床版下面に漏水等の変状は観られないため、経過観察とする。

(その他)遊間からの漏水は主桁端部や支承等の劣化要因となるため、漏水防止対策が望ましい。

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場 合に記載)	備考(写真番号、 位置図等がわかる ように記載)
上部構造	床版	Ⅱ	鉄筋露出	写番1、2、3
	主桁	Ⅲ	腐食	写番4、5、6
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写番7
下部構造	橋台	Ⅰ		写番8
支承部	支承	Ⅲ	腐食	写番9
橋面	舗装	Ⅱ	路面の凹凸	写番10、11
その他	伸縮装置	Ⅱ	漏水	写番12～17

橋りょう番号・名称		架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名	■点検日 2022/3/2	
371802133061-		松木渡橋	S44 (1969) 15.0m 1 鋼製桁	所在地	琴浦町 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田 琴浦町大字八橋
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 1/5	写番 1: 床版(左側張出) 損傷状況: 鉄筋露出、うき 健全性: II ※写番の後は 部材名+要素		写番 2: 床版(車道下) 損傷状況: 鉄筋露出 健全性: I ※写番の後は 部材名+要素		
					
	写番 3: 床版(右側張出) 損傷状況: 鉄筋露出 健全性: II ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等		写番 4: 主桁01 損傷状況: 防食機能の劣化 健全性: II ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等		
					

橋りょう番号・名称		マツキワタシバシ		架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田		■点検日 2022/3/2
371802133061-		松木渡橋		S44 (1969)	15.0m	1	鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋		
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 2/5	写番 5: 主桁01 損傷状況: 腐食 健全性 : Ⅲ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等							写番 6: 主桁02 損傷状況: 防食機能の劣化 健全性 : Ⅱ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等			
											
	写番 7: 横桁 損傷状況: 防食機能の劣化 健全性 : Ⅱ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等							写番 8: A1橋台 損傷状況: 鉄筋露出 健全性 : Ⅰ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等			
								 			



橋りょう番号・名称	マツキワタシバン	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田	■点検日 2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44(1969) 15.0m 1 鋼製桁	所在地 琴浦町大字八橋	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 3/5	写番 9: 支承 損傷状況: 腐食 健全性: Ⅲ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 		写番 10: 舗装 損傷状況: 路面の凹凸 健全性: Ⅱ ※写番の後は 部材名+要素  	
	写番 11: 舗装 損傷状況: 舗装の異常 健全性: Ⅰ ※写番の後は 部材名+要素  		写番 12: 遊間部 損傷状況: 欠損 健全性: Ⅰ ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 	

橋りょう番号・名称	マツキワタシバン	架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種	事務所名 琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、樹田	■点検日 2022/3/2
371802133061-	松木渡橋	S44 (1969) 15.0m 1 鋼製桁	所在地 琴浦町大字八橋	
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 # 4/5	写番 13: 遊間部 損傷状況: 漏水 健全性 : II   A1橋台 路面状況		写番 14: 排水管 損傷状況: 腐食 健全性 : I ※写番の後は 部材名+要素  	
	写番 15: 排水柵 損傷状況: 土砂詰り (撤去済) 健全性 : I ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 		写番 16: 防護柵 (親柱) 損傷状況: ひびわれ 健全性 : I ※写番の後は 部材名+要素 (番号, 細分)等 	

橋りょう番号・名称		架設年(西暦)	橋長	径間数	桁種	事務所名	■点検日 2022/3/2	
371802133061-		松木渡橋		S44(1969)	15.0m 1	鋼製桁	所在地	琴浦町大字八橋
定期点検調書その13 劣化・損傷状況写真 #5/5	写番 17: 防護柵（親柱） 損傷状況：欠損 健全性：I ※写番の後は 部材名＋要素 (番号, 細分)等				写番 18: 損傷状況： 健全性： ※写番の後は 部材名＋要素 (番号, 細分)等			
	写番 19: 損傷状況： 健全性： ※写番の後は 部材名＋要素 (番号, 細分)等				写番 20: 損傷状況： 健全性： ※写番の後は 部材名＋要素 (番号, 細分)等			

■ マツキワタシバシ			■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種				琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福岡、梶田			■点検日 2022/3/2				
371802133061- 松木渡橋							■ S44 (1969) 15.0m 1 鋼製桁			琴浦町大字八橋			松ノ木渡線	
定期点検調書 その14 概算数量 # 1/1	項 目	単位	概算数量	摘 要 (精 度)			適 用 部 材 ・ 工 法	単位	算出数量	摘 要 (算 定 式)				
				資料	図測	推定								
	コンクリート主桁本数	本					①床版上面 (床版防水, 上面増厚)	m ²	39.0	(B-0.5×2)×L				
	コンクリート主桁高	m					①床版下面 (炭素繊維接着, 鋼板接着, 断面修復)	m ²	54.0	床版支間×L×(F-1)×α				
	コンクリート主桁下幅	m					①鋼主桁, 横桁, 縦桁等 (再塗装)		90	鋼橋塗装面積				
	コンクリート横桁本数	本					①Co. 主桁 (表面塗装, 断面修復, 電気防食)	m ²	0.0	(主桁高×2+下幅)×L×N×α				
	コンクリート横桁長 (平均)	m					①Co. 横桁 (〃)	m ²	0.0	(〃)×横桁長×本数×α				
	鋼橋塗装面積	m ²	90			○								
	A1橋台高 (フーチング除く)	m	1.30		○		②A1橋台 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修, 含浸材塗布, 鋼板接着等)	m ²	3.4	A1H×(B-0.5×2)×α				
	A2橋台高 (〃)	m	1.40		○									
							③A2橋台 (〃)	m ²	3.6	A2H×(B-0.5×2)×α				
	P1コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₁ P1コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P1H×(W+T)×2×α				
	P2コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₂ P2コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P2H×(W+T)×2×α				
	P3コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₃ P3コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P3H×(W+T)×2×α				
	P4コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₄ P4コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P4H×(W+T)×2×α				
	P5コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₅ P5コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P5H×(W+T)×2×α				
	P6コンクリート橋脚高 (〃)	m					④ ₋₆ P6コンクリート橋脚 (〃)	m ²	0.0	P6H×(W+T)×2×α				
	コンクリート橋脚幅 (加重平均)	m					⑤支承 (取替え)	基	4	支承基数				
	コンクリート橋脚厚	m					⑥舗装 (打替え)	m ²	39.0	(B-0.5×2)×L				
	鋼製橋脚塗装面積	m ²					⑦伸縮装置 (取替え)	m	5.2	(B-0.5×2)×(径間数+1)				
							⑧地覆 (表面塗装, 断面修復, ひびわれ補修等)	m ²	45.0	0.5×6×L×α				
	鋼製高欄塗装面積(要塗装のとき"1")	m ²					⑧鋼製高欄 (再塗装ほか補修)	m	30	L×2				
	コンクリート高欄高	m					⑧コンクリート高欄 (取替え)	m	30.0	L×2				
	支承基数(ベタの場合は面積:m ²)	基・m ²	4		○		⑧ガードレール防護柵 (取替え)	m	30.0	L×2				
	落橋防止装置	基												
							①全面吊り足場	m ²	54.0	B×L				
							②, ③橋台枠組足場 (合計)	掛m ²	7.0	AnH×(B+0.5×2)				
	補修橋長 (諸元の橋長と不一致のとき)	m					④橋脚枠組足場 (合計)	掛m ²	0.0	PxH×(W+T+2.0)×2×構成数				
	補修幅員 (諸元の幅員と不一致のとき)	m												
							○詳細調査, 補修実施設計	式	1	あわせて 1式とする				

※ 計算式の記号は L:橋長, B:全幅員, F:床版通り数, N:主桁通り数, AnH:An橋台高, PxH:Px橋脚高, W:橋脚幅, T:橋脚厚とする。
αは補修率 (面補修のとき:1.0, 厚さ補修のとき:厚さ)を示す。

[illegible]

※ 補修後の変状は、無ければ“－”，あれば日付を記入する。

橋りょう番号・名称		マツキワタシバシ			■ 架設年(西暦) 橋長 径間数 桁種			琴浦町 : 西谷技術コンサルタント(株) 福間、梶田			■ 点検日 2022/3/2	
371802133061-		松木渡橋			■ S44(1969) 15.0m 1 鋼製桁			琴浦町大字八橋			松ノ木渡線	
定期点検調査その16 詳細調査履歴#1/1	番号	調査時期 (西暦)	目的・対策要因	対象部材	詳細調査項目 (コア抜きには塩分量, Co強度および中性化を含む)				補修工法	補修内容・数量等		
					詳細ひびわれ	はつり(鉄筋腐食)	コア抜き	アル骨(残存膨張)				

※ 詳細調査資料は、“橋りょう番号”+“番号”のフォルダにまとめておく。